

調査日時 平成 19 年 7 月 23 日

『平成 19 年 新潟県中越沖地震』 調査報告書

震 源 : 新潟県上中越沖 北緯 37.5 東経 138.6 深さ約 17km

発生日時 : 平成 19 年 7 月 16 日 (月) 午前 10 時 13 分頃

規模 : マグニチュード (M) 6.8

加速度 : 柏崎刈羽原発 1 号機基礎部分 680 gal

場所 : 新潟県柏崎市、刈羽村 震度 6 強



調査地域図

液状化被害状況



液状化地域



液状化により墳砂



木造家屋の倒壊



聞き取り調査地域図

『コロンブス工法採用の松波交番との位置関係』

S様邸と松波交番は、川を挟み直線距離で約500m

柏崎刈羽原子力発電所まで約4km



『柏崎松波交番』コロンブス工法採用

鉄骨造2階 警察官から聞き取り

最初に縦揺れがあり、直後に大きな横揺れが来た。かなり大きなゆれの為、立っているのが困難だった。

戸棚の物が落下したが、建物の被害はなかった。



『S様邸』（コロンブス工法不採用）
木造1階 S様から聞き取り

松波交番と向かい合った住宅地の中のS様。地震時お客さんとテーブルを挟みお茶を飲んでた。突然体が2mほど飛ばされ、また元の位置にもどった。食器棚がすぐ横へ倒れて危なかった。車庫の車が、車止めを越え移動し、壁に立て掛けてあった脚立を潰した。井戸から水が吹き出した。裏の畑に何本もの亀裂が出来、隣から液状化水が流れ込んで来た。外壁と玄関スロープ等に亀裂が入った。床も沈んでいる。建設業者に見てもらったが、落ち着いたら基礎上で建物の沈下修正を行なうことにした。緊急危険度判定では、「安全」の判定。隣の家は「危険」判定で退去した。

松波交番付近の液状化被害



液状化多発地域

写っている建物全てが『危険判定』



川を挟んだ公園

液状化による填砂

コロンブス工法を採用した刈羽村の物件調査



『刈羽村情報化施設』コロンブス工法採用

RC造1階 NTT職員から聞き取り

当日は休日であり、無人だった。

建物は問題なく稼動している。

設備への被害なし。



『刈羽村情報化施設 内部状況』

積み重ねてあったダンボール箱が崩れた。

棚の物が若干落ちた。

棚が倒れる等の被害はなし。

内装への損傷は見られない。

デスクトップのパソコンも倒れていない。

コロンブス工法以外の建物

『刈羽村役場』

RC3階 杭基礎

刈羽村情報化施設の向かい側。

建物2階・3階の窓ガラス損傷

(写真右側が刈羽村情報化施設)



コロンブス工法を採用した物件調査



『柏崎安田交番』コロンブス工法採用

鉄骨2階 警察官から聞き取り

縦揺れから大きな横揺れがあり、机の下へ非難した。

2段重ねの書類棚や机の上の物品、書等が落下散乱した。

建物内外部共に被害はない。

周囲の駐車場の外構や擁壁にかなりの被害が出た。



『燕市西燕保育園』コロンブス工法採用

木造平屋 職員から聞き取り

当日は、休日であり無人だった。

棚上の花瓶や、花鉢の落ちたものも無かった。

押入れ、天袋の引き戸が10cm程度開いた。



『佐藤池球場室内練習場災害復旧工事』

2004年の新潟地震において、液状化被害によって内部練習場の土が沈下した。

コロンブス工法を用いた液状化対策復旧工事を行なった。

今回の地震では、梁の跡が若干見える。

トンポにて整地を行なえばまったく問題ない。